

2015年6月16日 掲載 カーゴジャパン

トナミ／第一／久留米

土日の関西↓関東間の幹線輸送を一部共同化

トナミ運輸、第一貨物、久留米運送の3社は7日から、土日における関西発関東向けの幹線輸送を一部共同化した。トナミ運輸と第一貨物が幹線便で久留米運送の貨物を共同輸送することで幹線運行を効率化するとともに、久留米運送は運行を1便減便することで輸送コストの圧縮を図る。

具体的には、トナミ運輸・東大阪支店と第一貨物・大阪支店の自社便がそれぞれ久留米運送・東大阪支店に立ち寄り、久留米運送の東京、神奈川など関東向けの貨物を輸送するもので、輸送量は12ト（トナミ運輸6ト、第一貨物6ト）。

3社は2012年9月に合弁会社「ジャパン・トランス・ライン」（JTL）を設立し、3社の関東〜関西間の幹線運行の一部を共同化。その後もJTL運行部会で共同輸送の拡大を検討してきており、今後は施設面での一部共同化や共同配達についても検討していく。その一環から、3社は今年2月、三多摩地区での配送一元化を目的にウインローダー（本社・東京都杉並区）に資本参加している。

